

# 令和5年度 社会福祉法人べっふ優ゆう 事業報告書

事業期間 2023（令和5）年4月1日～2024（令和6）年3月31日

## 『私たちが「仲間」と呼ぶわけは』

べっふ優ゆうを利用していただいている障害のある人たちを、私たちは「仲間」と呼んでいます。それはお互いの「発達」がいつまでも続き、共に信じて成長する「仲間」という意味だからです。

## 1. 法人の活動状況

私たちが法人の状況（あるいは成果）を評価する場合、全体的なその時の一年を通した姿勢（構え）や動きを注視しています。

下表のデータは、事業別の平均年間利用日数を示したものです。（青色の行）暮らしの場としてのグループホームの多さは別としても、就労支援B型が突出した利用状況となっています。

しかし、それは法人内での話であって多くの他の法人のデータ（サービス利用率）では就労支援B型の状況が普通で、生活介護や放課後等デイサービスがあまりにも低すぎる状態だということが分かります。

その結果、黒字である事業は就労支援B型のみで、しかも他の事業の赤字部分を補填し法人の経営を支えている、ということが構造化しています。

事業別稼働状況				
		R4.3	R5.3	R6.3
就継B型	総延利用数	5,975	5,878	6,124
	期末利用者数	30	31	33
	平均年利用数	199	190	186
生活介護	総延利用数	1,743	1,612	1,538
	期末利用者数	14	11	10
	平均年利用数	125	147	154
放課後等デイサービス	総延利用数	1,874	2,006	2,100
	期末利用者数	16	19	20
	平均年利用数	117	106	105
共同生活援助	総延利用数	2,503	2,444	2,441
	期末利用者数	8	8	8
	平均年利用数	313	306	305

令和5年度の法人の事業方針では、次世代への引継ぎをスムーズに着手することを基本テーマに据え、各事業の管理者を中心として法人運営をカバーする経験知を高めることを目指してきました。（本部会議のメンバー化と協議の深化。）

一方で、想定できず、しかも影響は深刻だと思われる二つの事案が発生しました。

一つ目は、サービスの併給が成り立たないケースでの過誤請求による返還事案です。（特記の事例として通知がされている。）

ここでは、個々の利用者の利用計画策定及び関係者連絡会議において、直接の担当者だけでなく、関係する職員間での連携と共同責任性を仕組化することが求められている課題だからです。

もう一つは、最低賃金の上昇です。今後の社会の動静が大きく変化しない限り、向こう10年といった期間で上昇し続けるとのことです。時給1,500円は正職員の時間換算の給与を超える水準となります。

ここでは、まさしく事業継続計画の適宜性と見通し力が問われています。毎年一定の昇給を続ける運営基盤をどのようにしてつくるか。サービス事業のスケールアップ、生産性の向上、職員のキャリアアップと賃金制度、人材獲得プラン等々の諸施策を効果的に組み合わせる必要があります。

いずれにしても、職員一人一人の意識と意欲の向上につながらなければ意味がありません。「仕組化」がそのような働きを保证するように着実な改善が求められています。

## (1) 事業の実施概要と成果

### ①事業所の重点課題

- ・ **多機能作業所では**、就労支援事業のクッキー部門でさらに最高の売上と利益を実現し期末一時金も月額平均の1.8ヵ月以上の支給が可能となりました。

販売量は変わらないのに販売額の伸びで今回の工賃アップにつながっています。次は販売量を高めるためにですが、クッキー事業の好調さが明るい雰囲気や仲間の自信につながっているのではないかと思います。

そこで仲間の自主的な活動のチャンスとして、販売(新しい接点)や新商品(新しい出会い)のアイデア検討などの活動に期待することも大切な組立てとなるかもしれません。

紙漉きグループでは、1月で廃止となったメール便に変わり、惣菜事業が立ち上がり売上規模5倍もの貢献を果たしています。

紙漉きグループでは商品の多様性(従ってお客さんとの出会い方も多様)が核心です。仲間一人一人にあったチャンスを探り出すのが狙いとなるかもしれません。

- ・ **放課後等デイサービスでは**、監視カメラが設置されました。元々は仲間同士のもめごとで本当の状況はどうであったか事実を記録し、ご家族にも理解の行き違いがないようにとの狙いからでした。

そこから思いを進化できないかと考えます。つまり「監視」⇨「共に居る」といったように。一つのツールが子供たちとスタッフの共有できる「思い、お互いの気づかい」へと進化できるとしたら、そこに本当の省力化や省人化の土壌が成立するのではないかと考えています。

そのあとに導入された送迎車輛の「置き去り防止装置」も同じツールです。

- ・ **グループホームでは**、安全で、その人らしい生活がホームの目指すところだとして、同時に人材不足の解決と経済性の追求は解消が難しいテーマです。

スタッフが気づき、効果的な対応につながるツール、利用者自身への制止、誘導、話し相手としての働きを可能とするツールといった調査、導入も無駄ではないと思われます。(音声AIなどAIに対する投資が相当高まっている昨今、この分野での機能開発は長足の進歩が期待されます。)

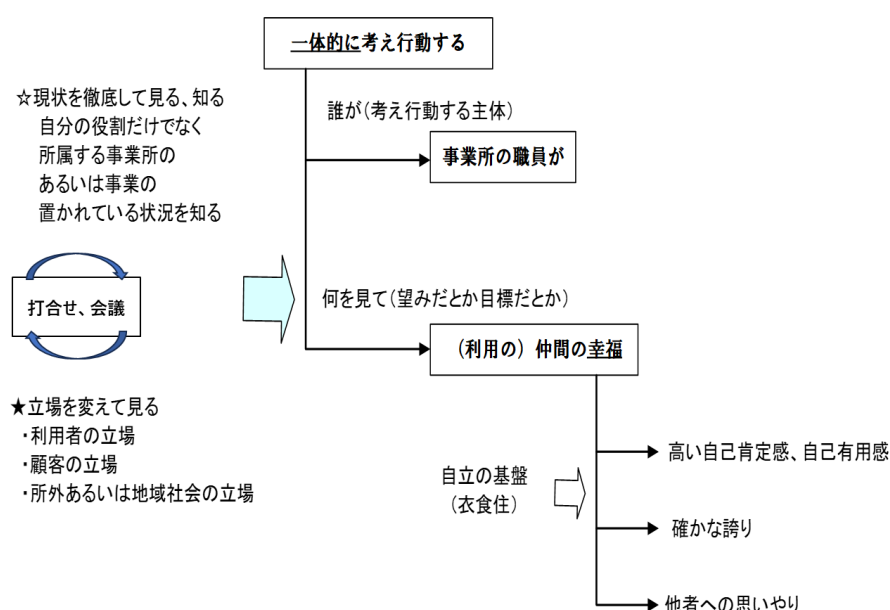
- ・ **相談支援センターでは**、兼務による相談支援の複数体制を実践してきました。相談支援実務で見方の異なる協議を重ねる良さ(深化)が感じられる一方で、放課後等デイサービスの兼務は大変だったようです。(思考と整理の知的活動と身体的反応が主の見守り

活動と)

もう一つの狙いとしては、参加した職員それぞれの新しいキャリアにつなげる試行期間として意味のある一年だったと思われまます。

## ②事業の生産性と組織・人事

- ・昨年3月の事業計画で規模100倍超の法人では、べっぶ優ゆうの人員の7割～8割ほどで運営していることを紹介しました。
- ・中小零細規模の法人では役割を細分化し、個々の担当職員の自己完結で運営していくのは、大変危険です。ずれが発見されず大きな問題となるまで顕在化されないからです。
- ・少なくとも同じ事業所内では「一体的に考え行動する」ために、自分の役割以外の部署について徹底して知る、理解する、協働のための仕事を発見するといった意識と行動が必要です。その目的は仲間の幸福実現のためです。



## ③事故防止等の取組みと虐待防止委員会の定着

- ・虐待防止委員会の運営については、年間2回の開催を目指し実施してきました。同時に各事業所での虐待防止研修の計画と実施について確認しているところです。
- ・令和6年度から作成が義務化されるBCP (Business Continuity Plan 事業継続計画) についてもこの委員会での仕組みを活用することとなりますが、輻輳するテーマと役割をどのように組み立てるかが課題となります。

## ④職員の専門性及び資質向上

- ・所内研修や地域での研修参加も、コロナ感染の落ち着きと共に普通に開催されるようになり、必要なテーマを積極的に受講する意識は広まっています。
- ・ZOOMによる受講形態も一般的となり、受講意識の高まりに寄与しているものと思われまます。
- ・資格取得への支援体制については、受験交通費や有給休暇取得などに対応し、成果へつながったことは本人の努力とともに評価されることです。
- ・専門資格の取得の促進については、キャリアプランとのリンクや給与体系の裏付けを踏まえ、どのように設計するかというテーマとして整理する必要があります。次回の理事会へ提案できるよう準備していきたいと考えまます。

## ⑤国や行政、地域社会への働きかけ

- ・コロナ感染の鎮静化とともに、きずなコンサートはようやく開催することができました。4年ぶりの事です。また、支える会の20周年記念誌制作にも関与し地域社会への働きかけ再開となりました。
- ・地域の団地（4棟239戸）の自治会総会に参加しました。住民の低参加率や高齢化、住民相互の理解促進などどこにでもある自治会の課題にどのような働きかけができるのか、ゆっくりと検討が必要です。
- ・きょうされんへの連携では、隔週で発信される「きょうされんNOW」の回覧、焦点となっている優生保護法、生活保護費切下げ等の運動テーマの共有を図り、署名活動などに呼応してきました。また、元旦の能登震災への募金呼びかけに応じ緊急の送金に協力したところです。
- ・定期化しつつありますが、赤十字県支部への1万円募金も実施しました。（3回）

## （2）事業収支及び財産の状況（一般会計）

### ①資金収支計算書（R5.4.1～R6.3.31）

千円

	当期 R5年度	前期 R4年度	増減
事業活動収入	141,041	137,698	3,343
事業活動支出	131,871	127,808	4,063
事業活動資金収支差額	9,169	9,889	△720
施設整備等資金収支差額	△6,779	△5,216	△1,563
その他の活動資金収支差額	△439	199	△638
当期資金収支差額合計	1,951	4,872	△2,921

\*収入は、就労支援事業200万円、障害福祉440万円増、寄附金350万円減で内訳されています。一方、支出は人件費の増250万円、経費95万円、就労支援55万円となっています。

### ②資産・負債比較（R6.3.31）

千円

	当期 R6.3	前期 R5.3	増減
流動資産	64,984	60,805	4,178
固定資産	120,837	124,897	△4,060
資産合計	185,820	185,702	118
流動負債	9,476	7,684	1,792
固定負債	19,092	21,945	△2,853
負債合計	28,568	29,630	△1,062
純資産	157,252	156,072	1,179
負債、純資産合計	185,820	185,702	118

\*前期の場合と同様、流動資産（1年以内に現金化できる資産。）が増加し、経営の健全性は向上しました。一方で固定負債（借入金）は順調に返済が進み、正味財産を積み増すことができました。サービスに直接関係する設備、機器については更新の整備計画を検討する時期が近づいています。

## 2. 事業別の活動概要

### (1) 実施事業の種類及び利用実績等

①就労継続支援B型		事業所番号	4410200069			
令和2年10月13日指定		定員	26名	契約数	34名	
開所日数	242日				期首契約数	33名
延べ利用日数	6,124人日(5,878)	日平均利用数	25.3人/日			
年給付費	43,276,050円	平均日給付	7,066円(予6,845円)			
備考	開設 平成19.1.1(単独指定として) 平均工賃月額16,960円/月					

②生活介護		事業所番号	4410200069			
令和2年10月13日指定		定員	6名	契約数	10名	
開所日数	242日				期首契約数	11名
延べ利用日数	1,612人日(1,743人)	日平均利用数	6.4人/日			
年給付費	14,721,780円	平均日給付	9,221円(予9,345円)			
備考	開設 平成22.7.1(多機能の指定事業所として)					

③放課後等デイサービス		事業所番号	4450200144			
令和2年10月20日指定		定員	10名	契約数	20名	
開所日数	261				期首契約数	20名
延べ利用日数	2,100人日(2,006)	日平均利用数	8.0人/日(7.7)			
年給付費	19,329,355円	平均日給付	9,204円(予8,973円)			
備考	開設 平成25.1.1					

④共同生活援助(グループホーム)		事業所番号	4420201685			
令和6年3月18日指定		定員	8名	契約数	8名	
開所日数	360日				期首契約数	8名
延べ利用日数	2,489人日(2,529)	日平均利用数	6.9人/日			
年給付費	34,049,110円	平均日給付	13,679円(予12,795円)			
備考	開設 平成30.4.1					

⑤短期入所(ショートステイ)		事業所番号	4410201679			
令和6年3月18日指定		定員	2名	契約数	34名	
開所日数	360日				期首契約数	33名
延べ利用日数	740人日(655)	日平均利用数	2.0人/日			
年給付費	3,781,230円	平均日給付	5,109円(予8,452円)			
備考	開設 平成30.7.1					

⑥相談支援		契約：(者)77(児)13(計)90名			
年給付費	3,555,450円	(3,355,390)			
地域移行、地域定着相談支援					
令和2年10月12日日県指定		事業所番号	4430200628		

特定相談支援（サービス継続利用、更新等）		
令和2年9月30日市指定	事業所番号	4430200628
障害児相談支援（サービス継続利用、更新等）		
令和2年9月30日市指定	事業所番号	4470200181

\*契約数については、報酬請求実績で集計したもので相談支援事業所の報告と食い違う場合があります。

(2) 多機能作業所(生活介護、就継B型)、放課後等デイサービス事業所、グループホーム(ショートステイを含む)事業所の各事業総括は本報告書末尾に添付。

(3) 苦情、事故

- ・苦情受付           なし
- ・事故報告           なし

### 3. 理事会・評議員会開催状況

(1) 理事会

第1回理事会 令和5.6.4 6名出席

- ・業務執行状況報告
- ・R4年度事業報告について
- ・R4年度決算及び監査報告について
- ・役員（理事、監事）の候補者選定について
- ・経理規程の改正について
- ・評議員会の開催日程について
- ・その他

第2回理事会 令和5.6.25 6名出席 （決議の省略手続きによる。）

- ・理事長の選出について

第3回理事会 令和5.11.19 6名出席

- ・業務執行状況報告
- ・R5年度上半期の収支実績報告及び補正予算について
- ・冬季賞与支給及び期末手当支給について
- ・理事長専決事項報告について
- ・諸規則の改正
- ・最低賃金の上昇と給与体系の整備について
- ・今年度第2回評議員会開催について
- ・べっぷ優ゆう新生10年計画課題検討チーム活動報告（中間）
- ・その他

第4回理事会 令和6.3.9 6名出席

- ・業務執行状況報告について
- ・令和6年度事業計画及び組織機構について
- ・令和6年度予算について

- ・協議 2 件について (①臨時交付金 (2-5 月) の受入及び 6 月以降の財源対応 ②期末手当の支給について)
- ・理事長専決事項の報告について
- ・べっふ優ゆう新生 10 年計画課題検討チームの報告並びに次年度の活動方法について
- ・その他 (①業務継続計画 (BCP) の策定、洗練化 ②評議員会の日程及び議題について ③新年度理事会の日程、決算スケジュール)

## (2) 評議員

第 1 回評議員会 令和 5.6.25 7 名出席

- ・業務執行状況報告
- ・R4 年度事業報告について
- ・R4 年度決算及び監査報告について
- ・役員 (理事、監事) の選定について
- ・経理規程の改正について
- ・その他

第 2 回評議員会 令和 5.12.3 6 名出席

- ・業務執行状況報告
- ・R5 年度上半期の収支実績報告及び補正予算について
- ・冬季賞与支給及び期末手当支給について
- ・理事長専決事項報告について
- ・就業規則の改正
- ・最低賃金の上昇と給与体系の整備について
- ・べっふ優ゆう新生 10 年計画課題検討チーム活動報告 (中間)
- ・その他

第 3 回評議員会 令和 5.3.24 6 名出席

- ・業務執行状況報告について
- ・令和 6 年度事業計画及び組織機構について
- ・令和 6 年度予算について
- ・協議 2 件について (①臨時交付金 (2-5 月) の受入及び 6 月以降の財源対応 ②期末手当の支給について)
- ・理事長専決事項の報告について
- ・べっふ優ゆう新生 10 年計画課題検討チームの報告並びに次年度の活動方法について
- ・その他 (①業務継続計画 (BCP) の策定、洗練化 ②新年度理事会、評議員会の日程、決算スケジュール)

## 4. 職員研修の状況

(1) 事業所内研修		
研修名称・テーマ等 (主催者)	日時	参加者

1	<p>多機能事業所職員研修</p> <p>5月 行動の理解と支援 (あこいや森島謙治氏)  6月 とうぶ作業所と久遠チョコレートの事例  7月 虐待防止・対応時マニュアル及びび虐待防止・身体的拘束等適正化のための指針  8月 AEDを使用した救命講習 (サニククリーン宮崎氏)  9月 物品販売について  10月 介助技術講習  11月 余暇支援の意義について  3月 虐待防止研修 (障害福祉課阿南氏)</p>	第二金曜日 16:30～	多機能事業所職員10名
2	<p>放課後等デイサービス</p> <p>5年度では、所外研修を主としたため施設内研修は実施していません。</p>		
3	グループホーム	・毎月1回職員会議	・問題事例の対応確認
(2) 外部研修			
	研修名称・テーマ等 (主催者)	日時	参加者
1	<p>マナーアップ研修  接客研修 ～支援者としての在り方～  講師 株式会社UNITED CIRCLE 川村</p>	6/20 放課後等デイ	長谷川・永松・北野・大海
2	<p>SST (ソーシャルスキルトレーニング) の理論と支援  ～インリアルアプローチ編～  講師 一般社団法人こども発達対症研究会  前田 智行</p>	7/13 ZOOM	長谷川・永松・北野・大海
3	<p>発達を知って子どもが分かり、支援につながる話  発達サポートさくらいろ 宮本久美子</p>	7/12 別府市役所5F 大会議室	長谷川・永松・北野・大海
4	<p>一般救命処置とAEDについて  講師 別府市消防署</p>	7/18 放課後等デイ	長谷川・永松・北野・大海・田中
5	<p>将来仕事をする時までに必要なスキルとは  講師 障がい者就業・生活支援センター  センター長 奥武 あかね</p>	10/17 別府市役所レセプションホール	長谷川哲郎、永松 文
6	<p>令和5年度障がい児通所支援事業等療育担当職員基礎研修  1日目 発達障害の理解と対応  2日目 事例を通して行動の背景を考える  講師 発達サポートさくらいろ  宮本久美子</p>	11/15-16 ZOOM	11/15 長谷川・永松・北野・大海 11/16 長谷川・永松・大海
7	<p>発達障害地域別研修会  「こんな子供を見たら…気づきと対応のポイント」  大分療育センター所長 清田 晃生  「就学前後の切れ目のない支援について」  大分県庁子ども未来課</p>	1/12 別府市社会福祉会館	北野・永松
8	<p>別府市自立支援協議会子ども支援部会 主催  就学準備説明会  別府市教育委員会 学校教育課 宇野 淳</p>	2/14 ZOOM	長谷川・永松・大海



9	別府市子ども支援部会研修会 事例発表会 「様々な課題をもつ児童の対応について」 Woody 放課後等デイサービス 「自然と土遊び」 放課後等デイサービスひなた	2/27 別府市社会福祉会館	長谷川・永松・北野・久保
(3) 総合支援法等制度関連研修			
研修名称・テーマ等 (主催者)		日時	参加者
1			

## 5. 借入金

- (1) 独立行政法人福祉医療機構 金額¥30,000,000 償還 20年 利率 0.55%  
当期元本償還¥1,548,000 支払利息¥118,127 期末残高¥20,640,000
- (2) 株式会社日本政策金融公庫 金額¥12,000,000 償還 7年 利率 0.81%  
当期元本償還¥1,740,000 支払利息¥18,272 期末残高¥1,305,000

## 6. 補助金

- (1) その他の補助金
- ・大分県電気代高騰相当支援 ¥177,122 (多機能 70,930、ホーム 84,166、放課後 22,026)
  - ・大分県物価高騰助成 ¥420,000 (多機能 150,000、放課後 150,000、ホーム 120,000)
  - ・大分県省エネ設備補助 ¥652,000 (多機能 434,600、放課後 217,400)
  - ・大分県子ども置き去り防止装置補助 ¥319,000 (2基、放課後等デイサービス)

参考:受入の勘定科目…補助金事業収益(公費) ¥597,122  
施設整備等補助金収入 ¥971,000

## 7. 登記事項

- ・令和 5.6.29 資産総額の変更(令和 5年 3月 31日現在、156,072,696円)
- ・令和 5.6.29 理事長の登記(6.25 重任)

## 8. 監査

- (1) 法人監事による監査
- ・令和 5.5.24 決算書、預貯金残高等会計処理状況を確認
- (2) 所管行政庁による監査
- ・大分県 令和 5年 6月 8日-9日 文書指導 2件(多機能、放課後等デイ) 報告済
  - ・別府市 令和 5年 10月 10日 文書指導 1件(法人) 報告済

## 9. その他特記

- ・なし